

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題  
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和2年度～令和4年度）
研究開発課題名	ヒトウテログロビン蛋白質を利用した低分子化二重特異性抗体の構築
代表機関名	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
研究開発代表者名	鎌田 春彦

総合評価：優れている

**【評価コメント】**

ヒトウテログロビン蛋白質を利用した低分子型PD1/PD-L1抗体を作成し、当初計画に加えて、*in vitro* と *in vivo* 腫瘍モデルにおいて天然型IgGと同等以上の活性が確認されるなど、着実に成果が得られた。新規モダリティの創製技術として、各アミノ酸変異UGの混合で、ピュアな二重特異性抗体が作製できることを示した点も意義深く、二重抗体作成技術は新たな基盤技術として評価する。

ただし、UG導入のメリットが十分見だせていないと思われるため、研究を進展させ、本二重特異性抗体を創薬に応用するための優位性や汎用性を明確にしていきたい。また、今後、国際雑誌での発表も実現し、特許出願も踏まえて、アウトリーチ活動に積極的に取り組むことを望む。

以上